

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
福祉人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> こまき福祉おしごとフェアの開催 (実行委員会設置) にじカフェ開催 	P. 35	令和5年2月25日開催 来場者67名 にじカフェ (求職者に福祉の魅力伝える)	21事業所のブース、8事業所のマルシェを出展。来場者への周知の仕方は課題。事業所同士の繋がりはできた。	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	福祉人材確保は今後も必要。福祉人材確保については、どのような形で行っていくか検討が必要。
障害に関する理解の促進 地域住民の障害に関する理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 西部地区民協の出前講座 	P. 32 P. 53	①9月5日実施 民生委員・児童委員全29名参加 ②10月5日実施 民生委員・児童委員全29名参加	①西部地区民協は一昨年に引き続き障害福祉サービスの説明を行った。 ②民生委員・児童委員から受けた相談事例を基に、相談支援との繋ぎについての講話を行った。	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	西部地区以外の民生委員を対象にした出前講座の開催を継続する。
虐待の防止	虐待防止研修会の実施 講師：鈴木康仁氏	P. 33	9月28日開催 サービス事業者職員29名参加	参加者にとって、スタッフの日頃の利用者への接し方を振り返る機会となった。(その他、多くの感想・意見あり) 総じて、虐待防止についての認識と理解を深める機会になった。	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	講師を招いての講義と共にグループワークを行うことで、事業所での対応などを学ぶこともできる。来年度は、障害者差別解消法に関する研修を行う。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
防災への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時備蓄品リストの更新 ・災害時避難要援護者台帳への登録啓発 	P. 50	各連絡会にて当事者への啓発を行う	<p>事業所の災害時の備蓄品については、各事業所の任意の対応になっている。</p> <p>災害時避難要援護者台帳への登録の啓発は、主に民生委員・児童委員により行われている。</p>	<p>終了</p> <p>● 継続 →</p> <p>同じ・変更</p>	台帳登録は、民生委員・児童委員のみならず、サービス事業者及び相談支援専門員からも引き続き当事者(利用者)に周知する。
地域生活支援拠点が有する機能の充実	グループホーム事業所の意見交換会	P. 35	3月2日開催 15名参加	支援内容の情報共有や、入居者への対応の困りごと、支援内容の意見交換、グループホームでの決まりごとについて、入居者の希望などについてを話し合い、新たな取り組みに繋げることができた。	<p>終了</p> <p>● 継続 →</p> <p>● 変更</p>	緊急受け入れ体制や、地域移行・地域定着への促進について意見交換を行っていく。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更